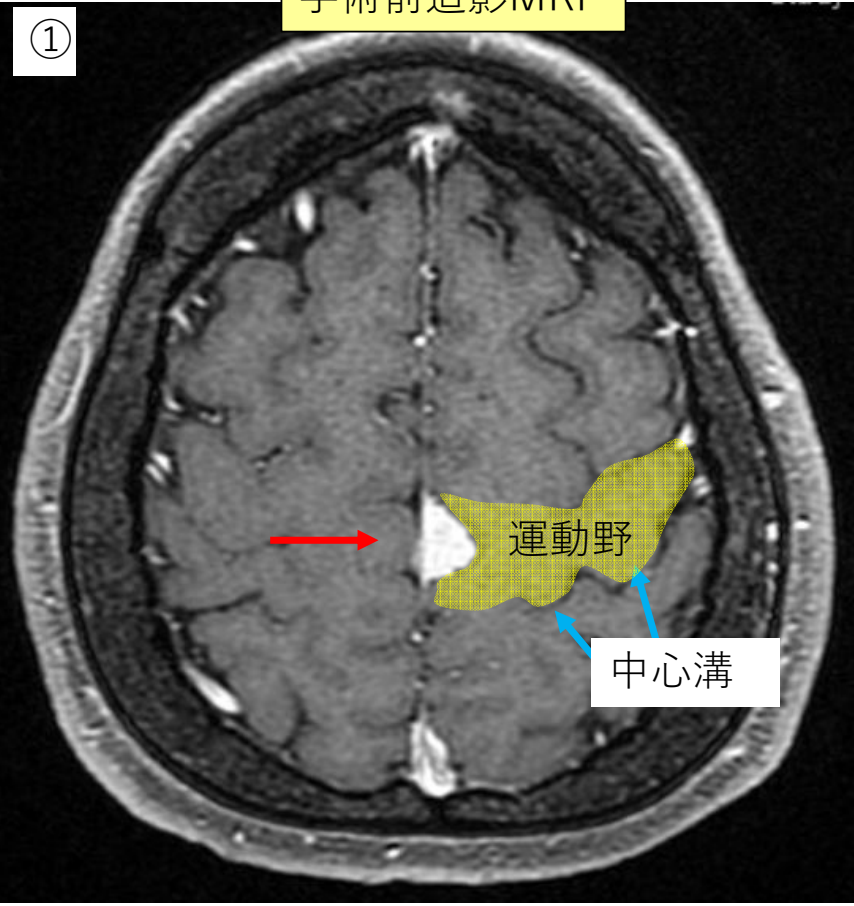


症例13：脳深部正中の腫瘍 → が徐々に大きくなり、右下肢麻痺が出る可能性があるため、開頭腫瘍摘出術を行いました。脳表から4cm下の下肢の運動野 に腫瘍がくっ付いており、ナビゲーションガイド下に手術を行いました。腫瘍周囲に静脈が張り付いており、遮断10分で右足の筋電図が低下したため、血管は全て残し腫瘍を全摘出しました。術後一時右下肢の麻痺が見られましたが、1か月後に完全回復されました。病理診断は髄膜腫でした。

手術前造影MRI



手術後造影MRI

